

大日本國
大清國
通商章程

第一類	冊	品架	二	雨
-----	---	----	---	---

国立公文書館

分類

掛架番号

2 A
33-9

① 1090

1090

正記

録院

大日本
清

國通商章程

第一款

修好條規ニ兩國ノ開港場ハ商民來往貿易

スルヲ勝手ニスハキ旨ヲ書載ス因テ雙方

ニ定メタル諸港ヲ左ニ記ス

大日本ニテ通商ヲ許セル諸港

横濱 東海道武藏州神奈川縣ノ支配

箱館 北海道渡島州開拓使ノ支配

大坂 畿内攝津州大坂府ノ支配

神戸 畿内攝津州兵庫縣ノ支配

新瀉 北陸道越後州新潟縣ノ支配

夷港 北陸道佐渡州佐渡縣ノ支配
新瀉ニ附ス

長崎 西海道肥前州長崎縣ノ支配

築地 東海道武蔵州東京府ノ支配
當時開市場ト稱ス

大清ニテ通商ヲ許セシ諸港

上海口 江蘇松江府上海縣ニ属ス

鎮江口 江蘇鎮江府丹徒縣ニ属ス

寧波口 浙江寧波府鄞縣ニ属ス

九江口 江西九江府德化縣ニ属ス

漢口鎮 江北漢陽府漢陽縣ニ属ス

天津口 直隸天津府天津縣ニ属ス

牛莊口 奉天府海城縣ニ属ス

芝罘口 山東登州府福山縣ニ属ス

廣州口 廣東廣州府南海縣ニ属ス

汕頭口 廣東潮州府潮陽縣ニ属ス

瓊州口 廣東瓊州府瓊山縣ニ属ス

福州口 福建福州府閩縣ニ属ス

厦門口 福建泉州府厦門廳ニ属ス

臺灣口 福建臺灣府臺灣縣ニ属ス

淡水口 福建臺灣府淡水廳ニ属ス

第二款

兩國ノ官民ハ定メタル開港場ニ於テ地所ヲ借受ルヲ許ス何レモ其地仕来リノ規則ニ依テ取扱フヘシ總テ地所ヲ借受ルニハ地方官ニテ其地人家墓所等ニ障リナキヤ又持主納得ナルヤヲ取糾シ其上ニテ公平ニ地代ヲ極メ證書ヲ取替シ地方官之ニ調印ス相對借リ押借リスベカラズ又内地並ニ不開港場ハ地所ヲ借リ建物スルコトヲ許サズ開港場ニテ地所ヲ借リ定メタル

後居宅ヲ作り店蔵等ヲ建ルニハ地方官ヨリ時々見分スベシ

第三款

兩國ノ商船開港場ニ往来スルニハ自國ノ海關又ハ地方役所ヨリ船ノ名并ニ積荷船頭水夫ノ姓名年齢住所ヲ書記ルシ印形ヲ押シタル船切手ヲ申請ケ開港場ノ理事官又ハ海關ニ持行キ勘令ヲ受クヘシ船切手無キモノハ往来ヲ許サズ萬一船切手破損紛失等ノ事アラハ海關ニ願立假リ手形ヲ

申請ケ歸國ノ上改テ願ヒ請ク可シ

第四款

兩國ノ商船開港場ニ入津セハ海關ヨリ即時ニ見張ノ番人ヲ差出スベシ番人ハ其商船ニ乘リ居又ハ役船ニ乘リ居ルトモ勝手タルヘシ右入用ノ雜費ハ海關ヨリ相渡シニ付商船ニ向ヒテ貪リ取ルコトヲ得ス相背クニ於テハ其高ヲ取上ケ掟ノ通處置スヘシ

第五款

兩國ノ商船開港場ニ入津セハ一日ノ内ヲ限り其船主ヨリ船切手積荷目錄ヲ理事官ニ届出シ翌日理事官ヨリ海關ニ掛合ヒ且ツ其船ノ名並ニ積前積荷ヲ書付ニシテ一同差送り海關ノ改ヲ受クヘシ若シ二日ノ期限ヲ越ヘテヨリ十二時ヲ入港ノ時刻海關ニ届ケザルモノハ大日水ニテハ一日毎ニ其船主ニ洋銀六十元ヲ罰シ大清ニテハ一日毎ニ其船主ニ銀五十兩ヲ罰ス罰銀ノ高貳百兩ヲ過ク可カラズ又積荷目録ハ巨

細ニ書出スベシ若シ品高ヲ隠シ或ハ品物
ヲ偽リタル者アラハ夫日本ニテハ隠セシ
者ニ其品税銀ノ高ヲ罰シ偽ハリシ者ニ洋
銀百二十五元ヲ罰ス大清ニテハ何レモ其
品ヲ官ニ取上ケ船主ニ銀五百兩ヲ罰ス若
シ目錄ニ書損アリテ其差出シタル當日ニ
之ヲ書キ改ハル者ハ構ヒナシ其日ヲ越ハ
テ改メザル者ハ夫日本ニテハ洋銀十五元
ヲ罰シ大清ニテハ一日毎ニ銀二十兩ヲ罰
ス罰銀ノ高一百兩ヲ過グヘカラズ若シ其

港ニ理事官居合セサル時船主ヨリ船切手
積荷目錄ヲ直ニ海關ニ差出サハ規則ノ通
リ取計ヲ可シ

第六款

兩國ノ商船入港シテ其積荷ヲ書付ニ認メ
海關ニ届出ルノ外船中自用品並ニ無税ノ
品々ハ別ニ目錄ヲ認メ海關ニ差出シ免税
ノ改ヲ受クベシ若シ之ヲ賣物ニナサバ猶
税則ノ通税ヲ納ムベシ若シ納税スベキ品
ヲ無税品ノ目錄ニ書込ニ税ヲ遁レント謀

ル者アラハ其品ヲ官ニ取上ヘシ

第七款

海關ヘ理事官ノ掛合ヒ到來セシ上ハ速ニ
荷揚ケ免狀ヲ出スヘシ若シ船主免狀ヲ請
ケズノ自儘ニ荷揚セハ大日本ニテハ揚タ
ル荷物ヲ官ニ取上ケ大清ニテハ銀五百兩
ヲ罰シ揚タル荷物ヲ官ニ取上ケヘシ商船
ノ荷揚ケ荷積ミスルニハ先ツ海關ノ免狀
ヲ申請クベシ背ク者ハ其荷物ヲ官ニ取上
クヘシ荷物ヲ船移シスルテモ先ツ海關ヨ

リ免狀ヲ出セシ上積ミ移スヘシ背ク者ハ
大日本ニテハ洋銀六十元ヲ罰シ大清ニテ
ハ其荷物ヲ官ニ取上ク可シ

第八款

兩國ノ商船税銀ヲ納ムルニハ輸入品ハ荷
揚ケノ時輸出品ハ荷積ミノ時ニ納ムベシ
納税相濟マハ海關ヨリ皆濟ノ手形ヲ出シ
理事官之ヲ請取テ船主ニ船切手ヲ返シ其
出港ヲ許スベシ

第九款

兩國ノ商民開港場ニ於テ荷物ヲ運フ為メ
相對賃錢ヲ以テ人夫端船ヲ傭フコト其勝
手ニ任セ官ヨリ指圖スルヲナシ又何船何
人ト限リ其株式ヲ立ルヲナシ又密商ヲ
ナシ又ハ納税ヲ適レントスル者ヲハ海
關ヨリ取調ヘ規則ニ依テ計フベシ

第十款

兩國ノ商人税ヲ拂フニハ荷物正味ノ高ヲ
以テ相納メ其風袋ヲ引クベシ風袋ノ掛目
ハ海關ニテ其荷物ノ内ヨリ一二包ヲ掛ケ

改メ其他ハ是ニ準ズベシ若シ濡損シタル
荷物ニテ定則ノ通り納税シ難キ者ハ其價
ヲ積リ代百兩ニ付税銀五兩宛取立ツベシ

第十一款

大日本ノ商船荷物ヲ大清ノ開港場ニ輸入
セバ大清ノ海關税則ニ依テ納税スヘシ大
清ノ商船荷物ヲ大日本ノ開港場ニ輸入セ
ハ大日本ノ海關税則ニ依テ納税スヘシ兩
國諸港ノ海關ニハ一定セシ斤量尺度并ニ
銀位ノ見本アレハ双方ノ商民何レモ其地

ノ舊規ニ從テ取計ヒ聊異議アルベカラズ
第十二款

兩國ノ貨物未タ税則ニ載セサル者アラバ
海關ニテ時ノ相場ヲ以テ其價ヲ積モリ代
百兩ニ付税銀五兩宛取立ツベシ若シ荷主
海關ノ積リ直段ニテ賣ルヲ欲セザレバ
其意ニ任セ税銀ハ海關積リ直段ノ通り拂
ハシム可シ

第十三款

兩國開港場ノ停泊所並ニ荷物揚卸シノ場

所ハ何レモ海關ヨリ程好キ處ヲ定ムヘシ
右ハ商人便利ノ為メナレハ税銀取立ノ節
更ニ故障申立ベカラス又官吏商民遊歴ノ
儀ハ兩國何レモ仕来リノ規則ニ依テ取計
フベシ尤大清ニテ手形ヲ願受ルハ理事
官之ヲ引受ケ其人柄實體ナルヲ見極メ手
形ヲ渡シ妄リニ事ヲ引出ス等ノ患ヲ免カ
ル可シ

第十四款

大日本ノ商賣品ハ大清ノ開港場ニ輸入シ

海關へ商税拂濟ミノ上大清人ノ手ヨリ大
清ノ内地へ運テ入レ關所番所ノ税銀ヲ拂
ト賣捌クヲ勝手タルベシ大日本人ハ大清
ノ内地ニ運入スルヲ許サス又大清ノ商
賣品ハ大日本ノ開港場ニ輸入シ海關へ商
税拂濟ミノ上ハ大清人自ラ大日本ノ内地
ニ運入スルヲ許サズ替ク者ハ其品何レ
モ官ニ取上ケ本人ハ理事官ニ引渡シ處置
スベシ

第十五款

兩國ノ商民ハ雙方ノ開港場ニ於テ其地ノ
產物並ニ別國ノ品物ヲ買取り海關へ届ケ
改ヲ受ケ商税拂濟ミノ上船積ミメ出港ス
ルヲ許シ内地ニ趣キ品物ヲ買ヲ許サ
ス若シ内地ニ入り自カラ品物ヲ買取ル者
アラハ其品物ハ何レモ官ニ取上ケ本人ハ
理事官ニ引渡シ處置スヘシ以上二個條ハ
兩國何レモ開港場ヲ定メタレハ明カニ限
リヲ極メ置クナリ

第十六款

輸入ノ貨物税濟ミ、上改テ外開港場へ運
ビ賣捌カントスルニハ海關ヨリ其貨物元
包ミノ儘ニテ解明ケ被替ハ等無之ヲ見届
ケ税濟ミノ手形ヲ渡シ外開港場ノ海關ニ
持行ト改テ受ケ其荷物手形ト相違ハケレ
バ之ヲ賣捌クヲ許シ再度ノ税ヲ免レシ
ム可シ万一名目ヲ借テ被替ハ差込ミ等ノ
惡事ヲラハ貨物ヲ官ニ取上クベシ

第十七款

大日本ノ商船大清ノ開港場ニ入津ノ納ム

ヘキ噸税ハ都テ百五十噸以上ノ船ヨリ一
噸ニ付銀四錢宛ヲ納メ百五十噸以下ハ一
噸ニ付銀一錢宛ヲ納ムレハ海關ヨリ四個
月限ノ手形ヲ渡シ右四箇月ノ間ハ大清ノ
開港場へ出入スルニ別ニ噸税ヲ納ムルヲ
ナク四箇月ノ期限滿ツレハ猶又定ノ通り
納ムベシ都テ入港ノ船未タ荷ヲ揚ケズメ
他所へ往カントスルモノ二日ノ内ニ出港
セハ噸税ヲ取立テズ二日ノ限ヲ越ユレハ
定ノ通り全ク納ムベシ此外別ニ雜費等ヲ

出ス、イナシ大清ノ商船大日本ノ開港場ニ
入津マハ噸税ヲ拂ハス、只手数料トメ入港
ニ付十五元出港ニ付七元宛ヲ納ム可シ

第十八款

兩國ノ商船其船入用ノ諸品ヲ買調、又ハ
難ヲ避ル為メ暫時開港場ニ立寄り更ニ交
易セサル者ハ其船ノ積荷ヲ海關ニ届ルニ
及ハス、若シ商賣ヲナサハ定ノ通り届出税
ヲ拂フベシ、若シ船ヲ修復スル為メ荷物ヲ
陸揚藏入スル者ハ海關ニ届ケ改ノ上免状

ヲ受ケテ陸揚スベシ、其船修復相濟ミ元荷
物ヲ積入レ出港スルニハ税ヲ納ムルニ及
バス、若シ藏入セシ後其地ニテ賣拂ハ、規
則ノ通り税ヲ納ムベシ

第十九款

兩國ノ商船若シ不正ノ荷物ヲ積運フモノ
アラハ大日本ニテハ其荷ヲ官ニ取上ケ大
清ニテハ其荷ヲ官ニ取上ケ且ツ其船ヲ港
外ニ逐出シ開港場ニ於テ貿易スルヲ許サ

第二十款

兩國ノ軍艦開港場ヲ出入スルニハ海關ハ
届ケ改ヲ受ルヲナシ船中所用ノ諸品ハ何
レモ無税タルベシ若シ陸揚メ賣拂ハ、届
出規則ノ通り税ヲ拂フ可シ

第二十一款

兩國開港場ニ於テ商人ノ荷物ヲ入レ置ク
為メ官ヨリ倉庫ヲ造ラハ其倉庫ノ規則ハ
兩國ニテ各取極ムヘシ尤荷物ヲ藏入イタ
シ置クニハ暫ク納税ヲ免ルシ賣捌ク時ニ

至テ税銀藏舗ニ全ク拂ハシムベシ若シ其
荷物ヲ別港ニ運ビ往クニハ只藏舗ヲ拂ヒ
税銀ヲ納ムルニ及ハズ

第二十二款

兩國ノ米麥糧食類ハ規則ニ從ヒテ別港ニ
積廻スノ外ハ何レモ海外ニ輸出スルヲ
許サズ尤船中水夫船客等食用ニ備フル分
ハ其見積リ高ヲ以テ海關へ届ケ手形ヲ受
テ買取ルベシ

第二十三款

登州牛莊兩所ノ大豈同油滓ハ大日本ノ商
船右港ヨリ積出スヲ禁ス外開港場ニテ
買クル者ハ定則ニ從ヒ納税ノ上出港ヲ許
スヘシ

第二十四款

硝石硫黄白鉛ハ何レモ軍用品ニ付大清ノ
官ヨリ直ニ注文スルカ又ハ大日本ノ商人
大清官ノ實正ナル注文書ヲ持タルモノト
レハ大清ノ開港場ニ輸入スルヲ許スベ
シ若シ密賣スルニ於テハ取押ヘテ品物ヲ

沒收シ法律ニ依テ處置スヘシ又大日本ノ
商人大清ノ開港場ニテ大清ノ硝石硫黄白
鉛ヲ密買輸出スルコトヲ許サス背クモノ
ハ品物ヲ官ニ取上ケ法律ノ通處置スベシ

第二十五款

凡禁制ノ品物火藥大小ノ彈丸大砲小銃並
ニ一切ノ軍器等及ヒ大清國北地ノ馬軍備
ニ關係スル者ハ兩國ノ商人何レモ買賣出
入スルヲ許サス背クモノハ品物ヲ官ニ
取上ケ各該ノ通處置スベシ

第二十六款

兩國ノ銅錢ハ規則ニ從ヒ別港ニ積廻スノ
外ハ何レモ海外ニ輸出スルコトヲ許サス
若シ商人密商スルコトアラハ取押ヘテ品
物ヲ沒収スベシ又大清内地ノ鹽ハ大日本
人積出スコトヲ許サス大日本ノ鹽モ大清ノ
積入レ賣捌クコトヲ許サス皆クモノハ何レ
モ掟ニ從ヒ罰ス可シ

第二十七款

兩國ノ船不開港場ニ往テ密商スルコトア

ラハ其地方官ヨリ取押ヘ大日本ニテハ品
物ヲ官ニ取上ケ洋銀一千元ヲ罰シ大清ニ
テハ船荷物トモ官ニ取上クヘシ尤何レモ
心得ノ為ノ理事官ヘ掛合ヒ知ラスベシ

第二十八款

兩國ノ税則ニ若シ輸入税則ノミヲ載セテ
輸出税則ヲ載セサル者ハ其品ヲ輸出スル
時部ノ輸入税則ニ引合セ納税スヘシ或ハ
輸出税則ノミヲ載セテ輸入税則ヲ載セサ
ル者ハ其品ヲ輸入スル時部ノ輸出税則ニ

引合セ納税ス可シ

第二十九款

兩國ノ商船難風ニ遇テ漂著セハ何レモ其
地方官ニテ取扱テ開港場ノ理事官ヘ送り
届ケ受取ラシムヘシ若シ商船海上ニテ賊
難ニ逢ヒシ時モ其地方官ヨリ手配メ嚴ク
召捕リ盜ミ物ヲ取戻シ理事官ニ送届ケ水
主ヘ返サシムベシ若シ盜人ヲ捕ヘ盜物ヲ
取戻シ得サル時ハ何レモ例ニ從テ捕手ヲ
處置スヘシ但シ品物ハ償ハサルナリ

第三十款

兩國開港場ノ海關官負ニテ密商漏税ヲ防
ク為ノ時ノ模様ヲ見計ヒ仕法ヲ立テ取行
フヲアラハ兩國ノ商民何レモ是ニ違背ス
可カラス

第三十一款

兩國ノ商民開港場ニテ取行フ海關ノ規則
若シ此後變通ノ事アラハ理事官ヨリ京師
在留ノ大臣ヘ申立其時々掛合ヒ談判メ取
計フ可シ

第三十二款

兩國今般議定セシ章程此後雙方改正セシ
ト欲セハ此條約ヲ取替ハセシ年ヨリ向キ
十年ヲ以テ限リトシ前廣ニ掛合ヒ會議メ
改ム可シ

第三十三款

兩國今般定メタル通商章程並ニ海關稅則
ハ修好條規ト同様ニ信守メ變改ナカルハ
シ其為メ兩國

欽差全權大臣花押調印メ即日ヨリ遵ヒ行ハシム

明治四年^印辛未七月二十九日 花押

同治十年^印辛未七月二十九日 花押